

子ども理科教室・東松山-教室報告

作成日:	2017.06.16	作成者:	大木成美
1 開催日:	2017/06/15(木)	2 時間:	14:30~15:15
3 場所:	野本小		
4 テーマ:	浮沈子		
5 講師:	大木	6 助手:	北條
7 参加児童数:	22		森
未就学児童	不明		宮木
1年生	4年生	7	利根川(くらりか)
2年生	5年生	10	
3年生	6年生	5	
8 参加保護者:	0		

9 内容、留意点

持ち時間が45分で纏めなければならなかったが、実際には40分弱で実施する事になった。浮沈子の歴史、その後浮力と比重について説明し、具体的には添付写真の左側中段に示す簡単な装置で、ゴルフボールを使って空気中で計測した重さに比べ、水中での重さが軽くなること。その軽くなった重さがボールを水中に沈めた時に排出される水の重さと同じになることを経験させた。

その後金魚形の浮沈子を作らせ、ペットボトル内でそれが浮き沈みすることを各自に経験させた。続けて円筒型の浮沈子を作らせ、それが回転することも経験させた。最後に原理について浮き子の比重が変



役
10

45分という持ち時間では比重、浮力、浮き子が浮いたり沈んだりする説明を進めるのが困難なことを思い知らされた。勉強不足であったと意識した。

短時間での授業は、ゴルフボールの実験を先にして、浮力とは何かまた比重とはどんなものかを体験させ、アルキメデスの王冠に関するエピソードで纏めてみたいと思っている。このテーマは実験主体で実施した方が効率的ではないかと考えている。以上私的見解であるが構



11 野が困難

講師・助手: Gr.で年間契約 児童: 開催元付与

12 教材箱 共通工具箱 共通消耗品箱

[] [] []

13 BU検討会への情報提供

[]